

さんぽっぽ ~景観だより~ ~第10号~



『色』ってどんなもの？

みんなそれぞれに、好きな色や嫌いな色があると思います。また空や木などの自然の色や、橋や車の色など人工の色も、色々ありますよね。色には同じ赤でも鮮やかな赤、くすんだ赤、明るい赤、暗い赤などもあります。（「色々」という言葉は、種類が多いことを指す時に使います。色も種類が多いことから、この漢字が使われているのでしょうか。）

ところで、同じ色でも日光の当たり具合や使い道によって、色が変わることを知っていますか？世界中つながっている海で、深さが同じところの色を調べると、鹿児島では緑っぽい青、北海道では濃い青なんだそうです。これは太陽の光の届き方が違うので、このように違った青に見えるのです。同じように、赤の折り紙を暗いところと明るいところで見ると、少し違った色に見えたことはありませんか？色は「光の反射」で見えているものなのですよ。

そこで、今回は薩摩川内市にある「赤」について調べてみました。下の写真は、どのような「赤」に見えますか？鮮やかな赤？黄色に近い赤？

皆さんも身近な場所にある、いろいろな色について調べてみませんか。

色の3つの要素～ 色相：赤・青など色の種類 明度：色の明るさのこと 彩度：色の鮮やかさ・強さのこと

まちなかのあか

